

センター直前期の勉強法について

(1) 真実から目をそらさない

「時間配分を間違えた」という失敗談をよく聞きます。はたして本当でしょうか？受験生は模試や予想問題集などで訓練を十分積んでいます。それでも時間配分を間違えてしまうのでしょうか？実際は時間配分を間違えたのではなく、問題につまづいたときの対応を間違えたのです。例えば、数学で解法がすぐに思いつかない（設問の意図を読み誤っている場合が多い）英語では図表を含む問題で焦ってしまい情報の整理ができずに大失点...という事態は十分起こりうることです。演習の時点で、無駄にパニックになってしまった問題を「あの時は～だったから」「この時は～があったから」と言い訳を探して受け流すのではなく、誤りに至った経緯の本質を直視しておくことがもっとも有効な手だてであり、自信と落ち着きにつながります。

(2) ベターな解法を見つけたら即採用しよう

自分のより良い解法があれば自分のものにしましょう。速く正確に解ける問題が一つ増えれば、別の問題に配分する時間も増えます。それだけ得点がアップする可能性も高まります。

(3) 演習は数よりも理解が大切！使えないものを増やすより使えるものを増やす勉強を！

本番が近づくほど自分に不足しているものに目を奪われてしまい不安感に支配されて悪循環に陥る人も多いです。直前期には、現在の自分の力を最大限使い切ること意識を集中しましょう。使える知識を毎日一つでも増やしていけばよいのです。

(4) 大学入試改革を受けての変化も意識しよう

大学入試センター試験改革に先駆けて、国公立大学での二次試験において出題変更が相次いでいます。昨年度の京都大学前期試験（英語）では、従来の和文英訳に加えて、これまで東京大学で出題されていたような、前後の文脈を踏まえた自由英作文が出題されました。より能動的な運用力が求められているのは明らかです。今年は年が明けてからセンター試験までの日数が非常に短く、ということは国公立大学二次・前期試験までの準備期間を昨年以上にもてるということです。落ち着いて、十分に学力をつけていきましょう。

受験の心得六か条

出題形式が変わっても、冷静に作問意図を把握して対処するだけです！

- 一、受験番号は受験票を見て記入する。
- 一、問題は全体をさっと見てからとりかかるとか。
- 一、難問は皆にとっても難問である。
- 一、マークは大問が終わるごとに記入する。
- 一、一科目終わるごとに次の科目に心を向ける。
- 一、人と比べるな。人は人、私は私。

1月重要スケジュール

- 12月30日（金）～1月2日（月）自習室開館
- 1月 3日（火）センター直前対策授業スタート
- 1月12日（木）入試壮行会（午前10時 開始）**
*センター受験上の注意、受験旅行の費用について
- 1月14日（土）・15日（日）センター試験**
*朝 8:00 センター各会場入場チェック開始
- 1月16日（月）センター自己採点会（9:20 開始）**
- 1月17日（火）・18日（水） 二次・私大対策授業
- 1月19日（木）リサーチ成績表一部返却（午後4時～）
- 1月20日（金）最終ホームルーム（午後1時 開始）**
*センター概況説明・全成績表返却ほか
- 1月21日（土）・22日（日）三者面談 *出願校調整

<三者面談でお持ちいただくもの>

- ・ 受験大学調査表（12月三者面談でシミュレーションしたもの）。国公立大学出願校を最終決定。
- ・ 私立大学は追加出願のご相談になります。

<私立大センター前出願に注意！>

- ・ 私立大学はセンター受験前に出願締切日を設けている場合が多いので、出願漏れのないように注意してください。
- ・ 1月下旬～2月初旬は私立大一般入試と**国公立大の出願の期間**が重なります。国公立大の出願準備を早めに済ませましょう！

- 1月23日（月）二次・私大対策開始（2月23日まで）
- 1月31日（火）受験大学調査表最終版の提出
- 2月25日（土）国公立大学前期日程試験
- 2月27日（月）国公立大後期試験個別対策スタート

国公立大出願期間：1月23日（月）～2月1日（水）

2月1日（水）消印有効 / 必着のどちらかは大学によって異なります。入試要項でご確認ください！

センター後から1ヶ月間は最も学力の伸びるとき。A判定は懸命に勉強すれば80%ほどは大丈夫だと予想しているにすぎない。油断大敵！